第37期　2012年6月期

第2四半期決算説明会

2012年1月31日

株式会社 CIJ

証券コード：4826（東証一部）

代表取締役社長　　堀　信一

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

目　　次

1. 業績結果(連結)
2. 2012年6月期業績の見通し
3. 財務諸表
4. 経営方針の進捗報告
5. トピックス

【ご注意】

※コメントには、主観的な内容が多く含まれております。
※予想値及びコメントは、一切、正確性・妥当性を保証するものではありません。
※数値は基本的に百万円単位で表記し、百万円未満は切り捨てております。
※率・差異等は概算値を用いており、決算短信・有価証券報告書等での記載値とは異なる場合があります。

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

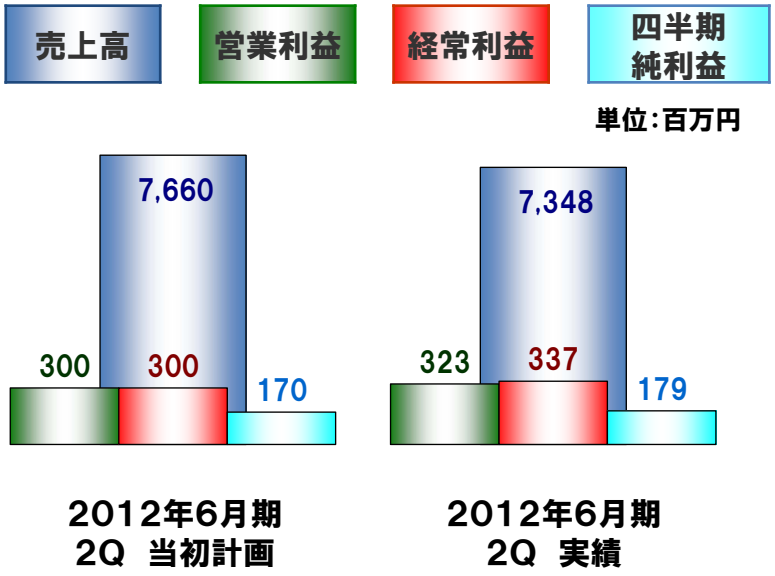
1．業績結果（連結）

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

1．1　業績要約（計画比）

単位：百万円

（連結）	2012年6月期 2Q 当初計画	2012年6月期 2Q 実績	当初計画との比較	
			差額	達成率
売上高	7,660	7,348	▲311	95.9%
営業利益	300	323	23	107.7%
経常利益	300	337	37	112.6%
四半期純利益	170	179	9	105.5%



- 売上高はやや未達成
  仕掛差を考慮すると当初計画どおり
- 利益はいずれも当初計画を達成

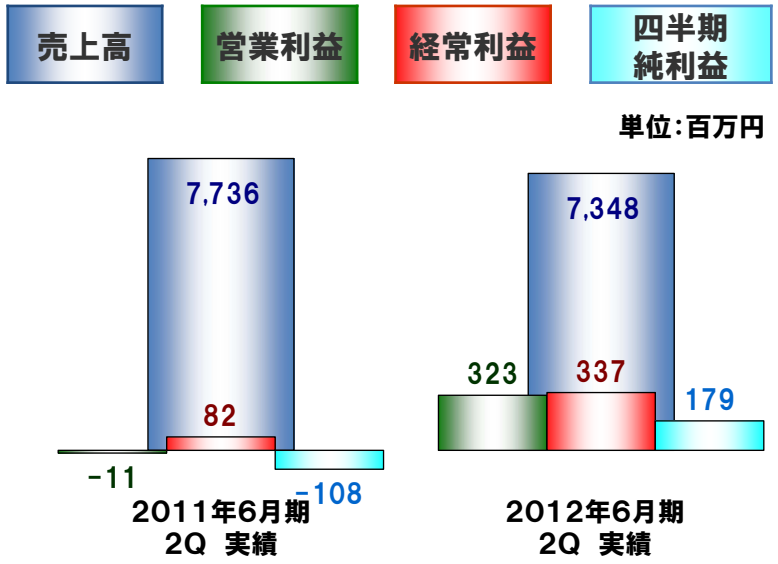
Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

1．2　業績要約（前年同期比）

単位：百万円

（連結）	2011年6月期 2Q 実績	2012年6月期 2Q 実績	前年同期との比較	
			増減額	増減比
売　上　高	7,736（7,359）	7,348	▲387（▲10）	▲5%（▲0.1%）
営　業　利　益	▲11　（▲4）	323	334（327）	－　（－）
経　常　利　益	82　（83）	337	255（254）	308%　（303%）
四半期純利益	▲108（▲105）	179	288（285）	－　（－）

※（　）内は、連結対象外となった子会社を除く実績です。



売上高
連結子会社2社減等により387百万円減収
2社分の売上高を除くとほぼ前年並み

営業利益
334百万円増益
うち、のれん償却額の減少（▲100百万円）

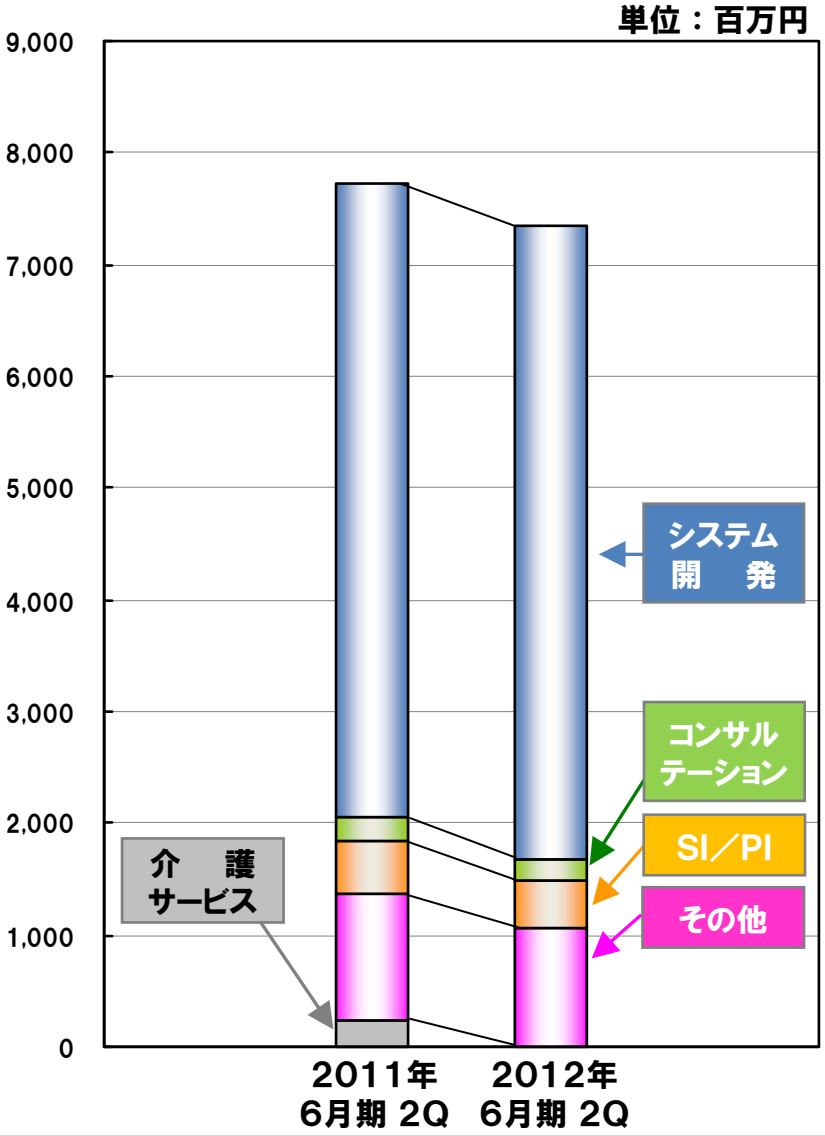
経常利益
255百万円増益

四半期純利益
経常利益の増加に加え、特別損失（資産除去債務適用影響等）の減少により 288百万円増益

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

1．3　事業・品目別売上高（前年同期比）

単位：百万円



単位：百万円

事業・品目		2011年6月期 2Q 実績	2012年6月期 2Q 実績	増減額	増減比
システム開発等	システム開発	5,668	5,678	10	0.2%
	コンサルテーション	234	182	▲51	▲21.8%
	SI／PI	458	414	▲44	▲9.7%
	その他	1,145	1,073	▲72	▲6.3%
介護サービス事業		229	―	▲229	―
合　計		7,736	7,348	▲387	▲5.0%

システム開発等

システム開　発	一部請負案件の検収の期ずれがあったが、通信業関連のシステムプラットフォーム基盤構築案件の受注等により10百万円増収
コンサルテーション	技術支援コンサルティング等の受注の減少により51百万円減収
SI／PI	福祉関連は伸びたものの、開発支援ツールを主力とする子会社譲渡により44百万円減収
その他	その他のうち、人材派遣売上高減（147百万円減）により72百万円減収

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

1．4　顧客別売上高（前年同期比）

単位：百万円

2011年6月期 2Q実績			2012年6月期 2Q実績			
	顧客名（のべ1,767社）	売上高		顧客名（のべ1,635社）	売上高	増減額
①	日立製作所	1,085	①	日立製作所	1,140	54
②	NTTデータ	829	②	NTTデータ	679	▲149
③	NTTソフトウェア	364	③	日本電気	335	132
④	日本電気	202	④	NTTソフトウェア	231	▲133
⑤	東芝情報システム	159	⑤	日立ソリューションズ	208	73
⑥	TIS	150	⑥	TIS	208	57
⑦	日立ソリューションズ	135	⑦	東芝医療情報システムズ	137	18
⑧	NTTデータ関西	124	⑧	大和総研ビジネス・イノベーション	109	35
⑨	東芝医療情報システムズ	119	⑨	日本ヒューレット・パッカード	107	3
⑩	日本ヒューレット・パッカード	103	⑩	新日鉄ソリューションズ	105	105
	上位10位までの売上高	3,274		上位10位までの売上高	3,262	▲11
	11位以下の売上高合計	4,461		11位以下の売上高合計	4,085	▲375

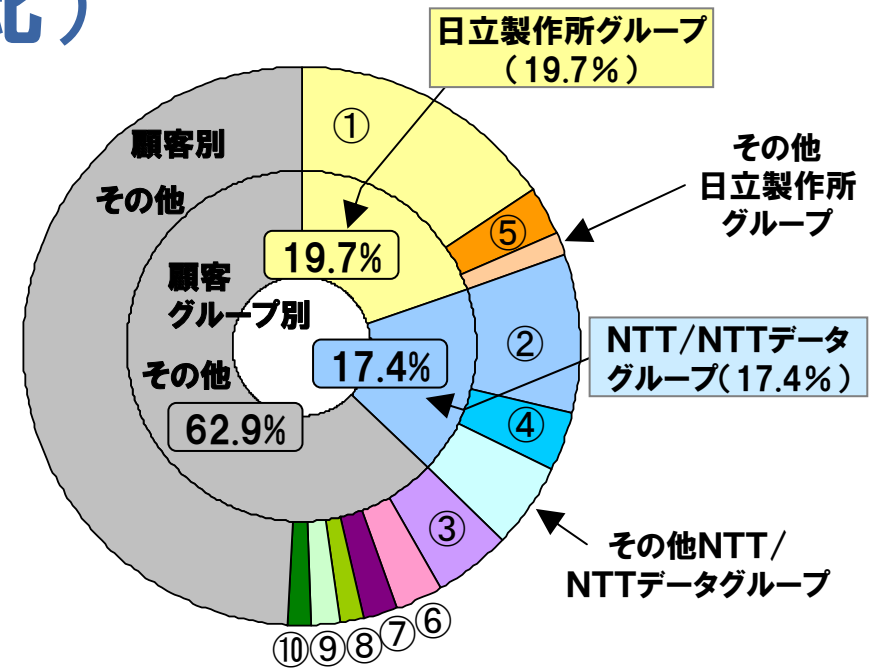
【1】 上位10社　前年比▲11百万円
　　上位10社の売上高は前期比微減で大きな変化はないが顧客は2社入れ替わった
　　（大和総研ビジネス・イノベーション、新日鉄ソリューションズとの取引が拡大）
【2】 東芝情報システム（93百万円）、NTTデータ関西（81百万円）の取引が減少
【3】 11位以下の減少（▲375百万円）は、ほぼ連結子会社2社減によるもの

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

1．5　顧客別売上高（構成比）

単位：百万円

	顧　客　名	2012年 6月期 2Q	構成比
①	日立製作所	1,140	15.5%
②	NTTデータ	679	9.3%
③	日本電気	335	4.6%
④	NTTソフトウェア	231	3.1%
⑤	日立ソリューションズ	208	2.8%
⑥	TIS	208	2.8%
⑦	東芝医療情報システムズ	137	1.9%
⑧	大和総研ビジネス・イノベーション	109	1.5%
⑨	日本ヒューレット・パッカード	107	1.5%
⑩	新日鉄ソリューションズ	105	1.4%
	上位10位までの売上高	3,262	44.4%
	11位以下の売上高合計	4,085	55.6%



1. 日立製作所グループは売上高が増加し、構成比も増加した。NTT/NTTデータグループは売上高が減少し、構成比も減少した。
2. 両グループの構成比は37.4%→37.1%に減少。

単位：百万円

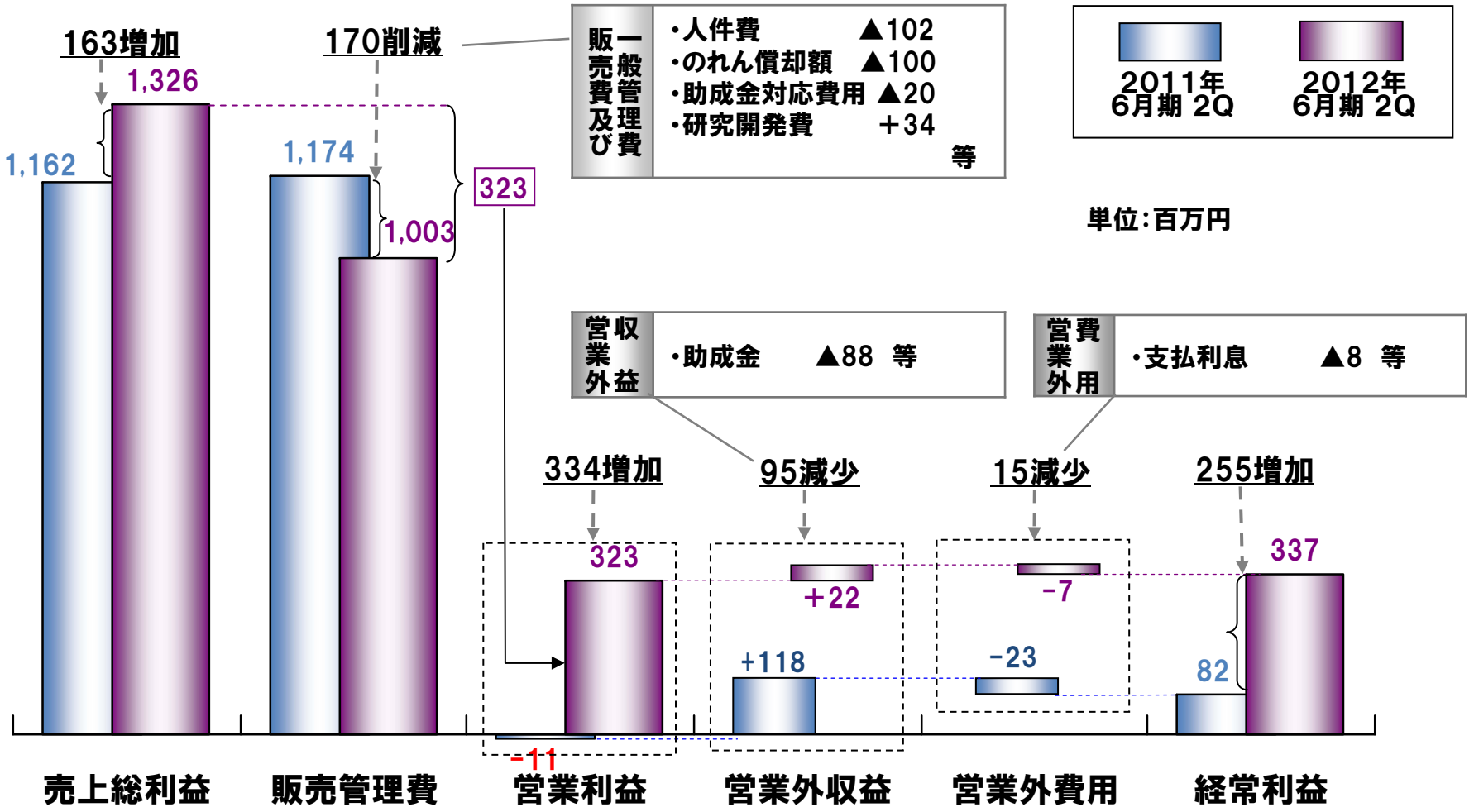
グループ	2011年6月期 2Q 売上高	構成比		2012年6月期 2Q 売上高	構成比		増減額
日立製作所グループ	1,351	17.5%	37.4%	1,449	19.7%	37.1%	97
NTT/NTTデータグループ	1,543	20.0%		1,279	17.4%		▲264
その他	4,840	62.6%		4,619	62.9%		▲220

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

1．6　経常利益（前年同期比）

前年同期との経常利益差異分析

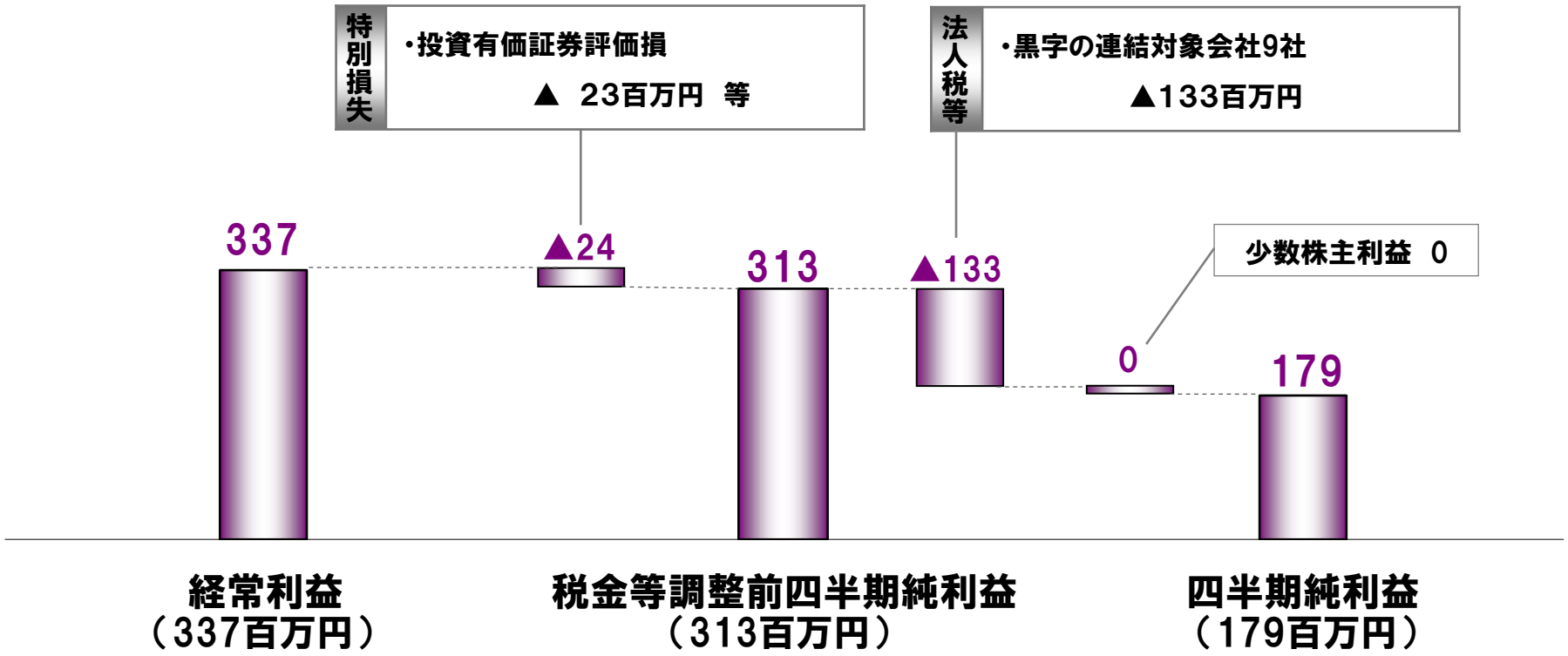
経常利益 前年同期比255百万円増益



Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

1．7　四半期純利益

単位：百万円

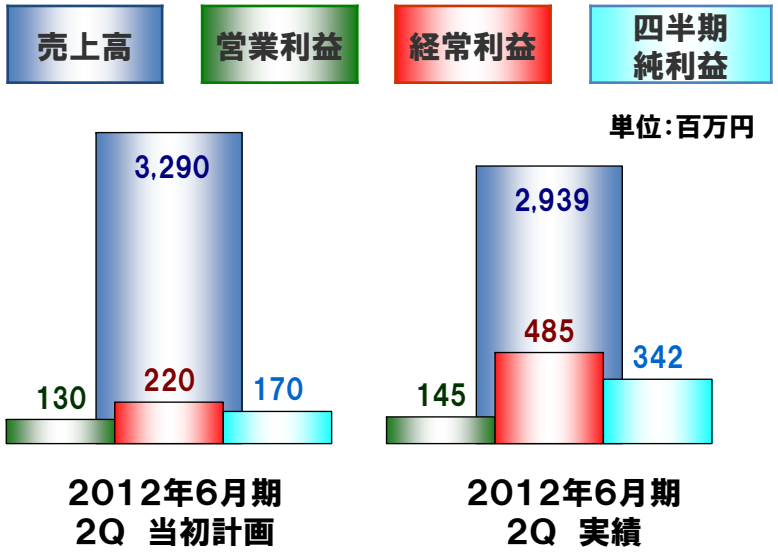


Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

<ご参考①>単体　業績要約(計画比)

単位:百万円

(単体)	2012年6月期 2Q 当初計画	2012年6月期 2Q 実績	当初計画との比較	
			差　額	達成率
売　上　高	3,290	2,939	▲350	89.3%
営　業　利　益	130	145	15	112.3%
経　常　利　益	220	485	265	220.7%
四半期純利益	170	342	172	201.7%



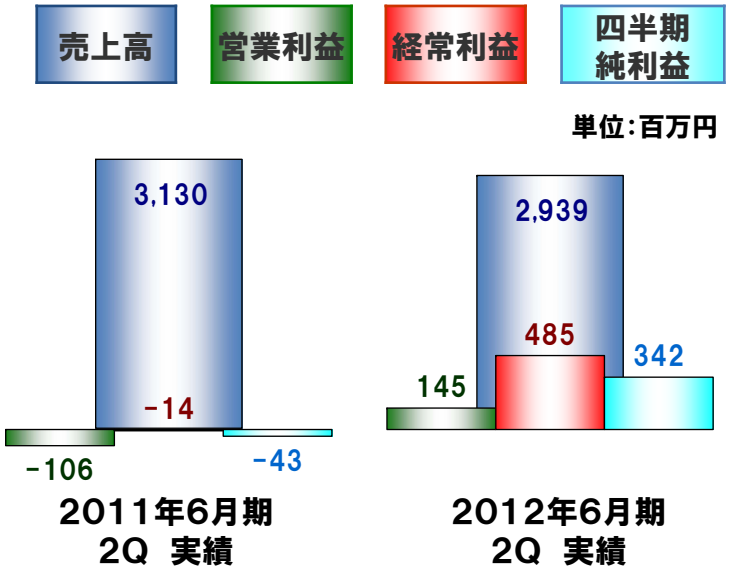
- 売上高は未達成
  仕掛を考慮すると、ほぼ当初計画どおり
- 利益はいずれも当初計画を達成
  経常利益、四半期純利益の増分は受取配当金が主要因

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

<ご参考②>単体　業績要約(前年同期比)

単位:百万円

(単体)	2011年6月期 2Q 実績	2012年6月期 2Q 実績	前年同期との比較	
			差　額	増減比
売　上　高	3,130	2,939	▲191	▲6.1%
営　業　利　益	▲106	145	252	-
経　常　利　益	▲14	485	499	-
四半期純利益	▲43	342	386	-



売上高
一部請負案件の検収の期ずれ等により191百万円減収

営業利益
不採算案件の減少等により252百万円増益

経常利益
営業利益の増加に加え、受取配当金の増加により499百万円増益

四半期純利益
経常利益の増加に加え、特別損失(資産除去債務適用影響等)の減少により386百万円増益

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

2. 2012年6月期業績の見通し

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

2．1　2012年度の景気見通し

（１）景気の現状（政府見解）

景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、緩やかに持ち直している。

（出典：2012年1月17日　内閣府発表「月例経済報告」）

（２）景気の見通し（日本銀行総裁見解）

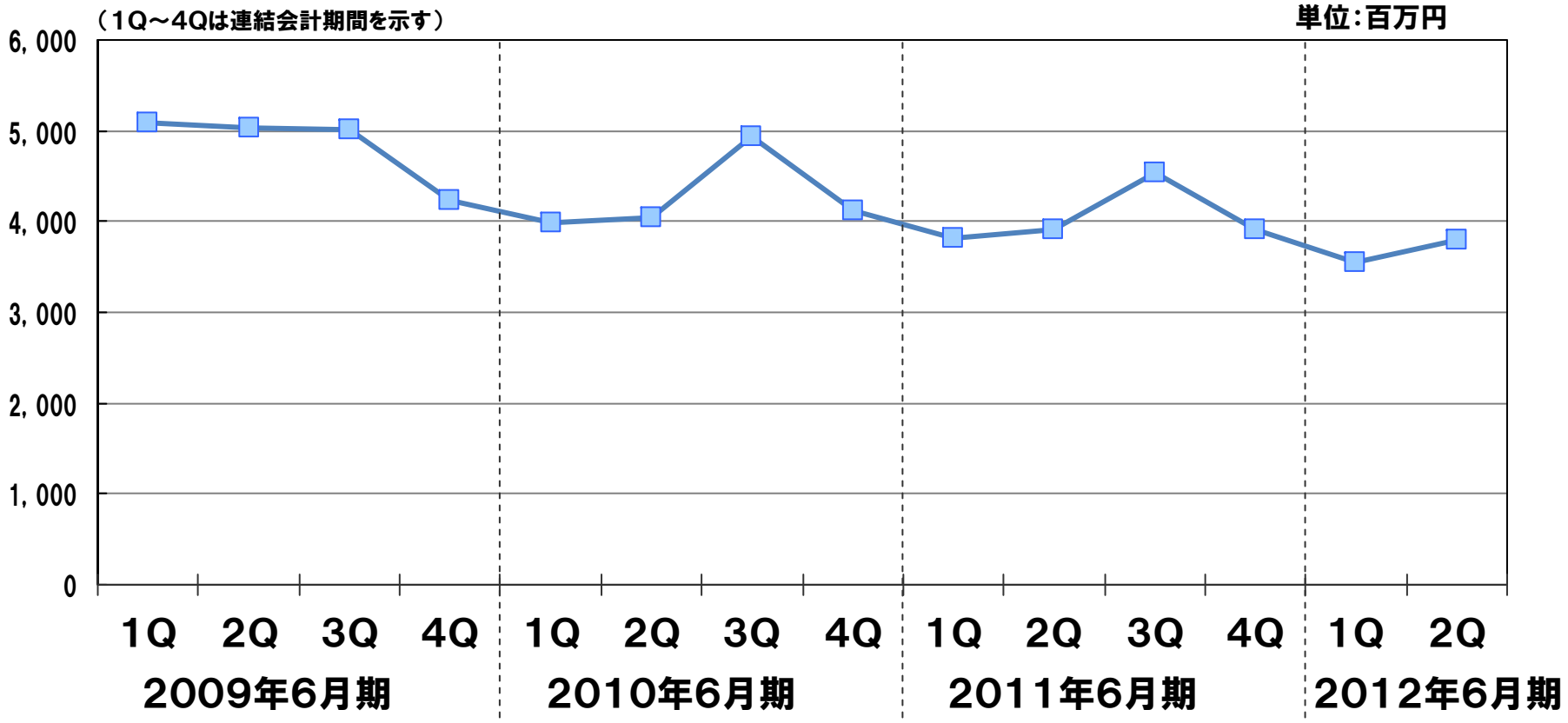
景気は、新興国経済の復調や復興需要の本格化につれて、2012年度前半から緩やかな回復経路に復するとみられる。

（出典：2012年1月24日　日本銀行総裁　記者会見談話）

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

2．2　当社グループの売上状況と通期目標の精査

・当社グループの直近9カ月の売上高推移を見ると、連結子会社2社減等により、売上高は減少となったが、現時点では、この2社分の減収以外大きな減収要因はない。
・下のグラフの1Qから2Qへの折れ線の上昇勾配は前年より急になっており、売上高上昇の勢いが見てとれる。
・日銀総裁見解の今期4Qからの緩やかな景気回復を勘案し、通期売上目標は当初計画を堅持する。



Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

2．3　通期業績の見通し

単位：百万円

	上期実績	通期予想	前期実績
売上高	7,348	16,320	16,189
営業利益	323	950	520
経常利益	337	960	628
当期純利益	179	580	261
営業利益率	4.4%	5.8%	3.2%
経常利益率	4.6%	5.9%	3.9%

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

２．４　通期業績達成に向けての取組み

【１】独自製品の取組み強化
- 新製品の開発
- ホテル売掛金システムのクラウド化　　等

【２】営業チャネルの拡大
- 営業スキル及び営業チャネルを有する人材の積極的な採用

【３】新たな顧客とのビジネスの拡大
- 新たな顧客（SIer）との取引を拡大
  - 大和総研ビジネス・イノベーション
  - 新日鉄ソリューションズ　　等

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

3. 財務諸表

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

3．1　連結貸借対照表（要約）

単位：百万円

科　　目	2011年6月期末	2012年6月期2Q末
（資産の部）		
流動資産	9,242	8,777
有形固定資産	1,932	684
無形固定資産	160	131
投資その他の資産	970	1,273
固定資産	3,062	2,089
資産合計	12,305	10,866

科　　目	2011年6月期末	2012年6月期2Q末
（負債の部）		
流動負債	3,188	2,416
固定負債	453	134
負債合計	3,642	2,551
（純資産の部）		
株主資本	8,554	8,380
評価・換算差額等	▲45	▲69
少数株主持分	154	3
純資産合計	8,662	8,314
負債純資産合計	12,305	10,866

自己資本比率	69.1%	76.5%

※財務諸表に関する詳細な数値は、
「平成24年6月期 第2四半期決算短信」
（P4以降）を参照ください。

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

3．2　連結貸借対照表（主な増減要因について）

単位：百万円

科　目		主 な 増 減 要 因		
資産	流動資産	・現金及び預金……	▲627	▲465
		・受取手形及び売掛金……	▲145	
		・仕掛品……	＋278	
	固定資産	・有形固定資産（建物・構築物、他）…	▲1，002	▲973
		・有形固定資産（土地）……	▲204	
		・投資有価証券……	＋315	
	資産増減　計			▲1，438
負債	流動負債	・短期借入金……	▲613	▲772
		・未払法人税等……	▲34	
	固定負債	・長期借入金……	▲238	▲318
		・退職給付引当金……	▲113	
	負債増減　計			▲1，090
純資産	株主資本等	・自己株式……	▲165	▲347
		・少数株主持分……	▲150	
		・その他有価証券評価差額金……	▲22	

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

3．3　連結損益計算書

単位：百万円

科　　目	2011年6月期 2Q 実績	2012年6月期 2Q 実績	増　減
売上高	7,736	7,348	▲387
売上原価	6,573	6,022	▲551
売上総利益	1,162	1,326	163
販売費及び一般管理費	1,174	1,003	▲170
営業利益	▲11	323	334
経常利益	82	337	255
特別利益	4	－	▲4
特別損失	125	24	▲100
四半期純利益	▲108	179	288

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

4. 経営方針の進捗報告

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

4．1　経営方針

経営方針

（１）高度技術者集団化

（２）営業・開発パワーの増大

（３）グループシナジー増大

（４）プライムビジネス拡大
製品開発
独自事業開拓

（５）コーポレートガバナンスの強化

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

4．2　経営方針の進捗実績
（1）高度技術者集団化

資格取得の推進

若年層のスキルアップとプロジェクトマネージャの育成に注力した。
国家資格である情報処理技術者資格の取得を推進した。

代表的な公的資格取得者人数（重複取得含む）	2011年6月期 2Q末	2012年6月期 2Q末	増減
システム監査技術者試験（AU）	4	4	0
ITストラテジスト試験（ST）	1	2	1
プロジェクトマネージャ試験（PM）	11	12	1
システムアーキテクト試験（SA）	26	25	−1
エンベデッドシステムスペシャリスト試験（ES）	6	8	2
ネットワークスペシャリスト試験（NW）	19	23	4
データベーススペシャリスト試験（DB）	21	26	5
ITサービスマネージャ試験（SM）	1	3	2
情報セキュリティスペシャリスト試験（SC）	35	49	14
応用情報技術者試験（AP）	283	320	37
基本情報技術者試験（FE）	801	821	20
Project Management Professional（PMP）	41	60	19
合　計（のべ人数）	1,249	1,353	104

※情報処理技術者試験は、新制度の区分で集計・記載しています。

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

4．2　経営方針の進捗実績
（２）開発・営業パワーの増大

【１】人員の適正化と質の向上

従業員数　　1,559名（前年同期比206名減）
うち期中採用人数　21名

【２】営業活動の活発化、強化

・営業組織の強化再編

グループ営業会議の実施
グループガイドのリニューアル

・新規顧客の獲得

新規顧客獲得実績

新規顧客数	19社
新規案件数	29件
新規受注額合計	129百万円

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

4．2　経営方針の進捗実績
（３）グループシナジー増大

【１】グループ経営の効率化（戦略的戦力集中）

・各子会社のグループ内での役割分担の整理
・将来性の高い事業分野への選択と集中の推進
・経営効率向上と企業体力強化のためのグループ会社再編成

①「CIJネクスト」と「金沢ソフトウエア」の合併（２０１１年７月１日）
概要：地域事業の基盤強化と拡大、経営効率向上のため、CIJネクストが金沢ソフトウエアを吸収合併した。

②「CIJウェーブ」の非連結子会社化（２０１１年７月２９日）
概要：地域に密着した介護事業を機動的及び自主的に発展させるため、同社施設の所在地域の株主に株式を一部譲渡し、持分法適用関連会社とした。

これら構造改革を継続推進した結果、当社グループは、
連結子会社９社、関連会社２社となった。

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

4．2　経営方針の進捗実績
（３）グループシナジー増大

【２】グループ横断プロジェクトでの案件獲得
・グループ連携による幅広い大型提案営業

①サービス業案件（CIJ ＋ CIJネクスト ＋ カスタネット）	受注金額	86百万円
②官公庁案件（CIJ ＋ カスタネット）	受注金額	9百万円
③官公庁案件（CIJ ＋ CIJビィエスシィ）	受注金額	9百万円
④製造業案件（CIJ ＋ビジネスソフトサービス）	受注金額	6百万円
		等
合　　計	受注金額	147百万円

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

4．2　経営方針の進捗実績
（３）グループシナジー増大

【３】社員研修教育の合同実施を推進

PL初心者教育、PMP資格取得研修を合同実施

	PL初心者教育	PMP資格取得研修	（内PMP合格者）
CIJ単体	7名	35名	（6名）
グループ会社	3名(3社)	40名(1社)	（2名）
合　計	10名	75名	（8名）

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

4．2　経営方針の進捗実績
（４）プライムビジネス拡大・製品開発・独自事業開拓

【１】プライムビジネス（１次請け）拡大

①製造業案件	9件	受注金額合計	74百万円
②金融業案件	2件	受注金額合計	44百万円
③官公庁案件	3件	受注金額合計	18百万円
④その他	19件	受注金額合計	71百万円
合計	33件	受注金額合計	208百万円

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

4．2　経営方針の進捗実績
（４）プライムビジネス拡大・製品開発・独自事業開拓

【２】自社製品の販売拡大
当社製品ホームページやフェア出展を通じ拡販中

システム名	受注本数	累計
エコFAXシステム「FAX SERVER SYSTEM」	4	39
文書管理システム「Ofigo（オフィーゴ）」	8	51
ホテル／旅館経理向け 省力化ツール 「ホテル売掛金システム」	4	30
社会福祉施設・事業所／社会福祉協議会向け 福祉総合システム「SWING（スウィング）」	265	6，310
自治体向け 福祉総合システム　「SWAN（スワン）」	8	175

受注金額合計　84百万円

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

4．2　経営方針の進捗実績
（４）プライムビジネス拡大・製品開発・独自事業開拓

【３】独自事業開拓

マイグレーションビジネスの推進　６件受注

受注金額合計　69百万円

【４】プライム売上比率（単体）

自社製品を含むプライム売上比率　１４．９％（前年同期比１４．７％）

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

4．2　経営方針の進捗実績
（５）コーポレートガバナンスの強化

当社の内部統制委員会は「内部統制システム構築の基本方針」に基づき、毎年度リスクの精査とそれに基づく活動を行っています。上期は以下の活動を行いました。

＜内部統制委員会の上期の活動＞

7月
以下の見直しを実施
- 内部統制システム構築の基本方針
- 内部統制に係る重要リスク
- 事業等のリスク（有価証券報告書）

9月
- 全社共通リスクと部門固有リスクの洗い出しの展開
- データ回復訓練の実施指示

12月
- リスクと対策の見直し結果の報告の確認
- 各部門からのデータ回復訓練の実施報告の確認

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

5. トピックス

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

5. トピックス

（1） 自己株式の取得

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を行うため、
自己株式を取得しました。

- 取得した株式の総数　　60万株
- 株式の取得価額の総額　　177百万円
- 取得期間　　2011年11月7日～2012年1月10日

2012年1月10日時点の自己株式の保有状況

- 発行済株式総数（自己株式を除く）　20，343，230株
- 自己株式数　2，211，850株

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.

第37期　2012年6月期

第2四半期決算説明会

お配りしてありますアンケートにご協力をお願いいたします。

【ご注意】本資料の記載内容は投資勧誘を目的としたものではなく、一般的なIR情報の提供を目的としており、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について当社は責任を負うものではありません。本資料においては、決算短信にて開示しております業績予想数字とそれに関連するデータ等を記載しておりますが、完全な正確性及び妥当性等を保証するものではありません。当該情報に基づいて被るいかなる損害につきましても、当社は一切の責任を負いかねます。

IRに関するご質問・お問い合わせ先　：　株式会社CIJ　経営企画部
TEL:045-324-0111

※本資料に記載されている各種サービス名、商品名、会社名等は各社の商標または登録商標です。
※本資料に記載されている会社名等は敬称を省略しております。

END

Copyright ©Computer Institute of Japan, Ltd. All right reserved.